

角川総一の 金融 60 逆さメガネ

こ

のところ多少落ち着いて
るとは言え、やはり数年前
に比べれば確かに苦しい。そう多
くの人が実感しておられると思
う。ガソリン価格のことである。

数年前には1リッターあたり10
0円程度だったスタンドでの小売
価格が、今は136円程度。年間
1万5000キロから2万キロ近
く走る私にとっては大きい。

この間、九州に仕事で行ったつ
いでに長崎を訪ね、高速船で軍艦
島を巡ったのだが、この乗船料金
が「ガソリン価格高騰のおり、プ
ラス500円(だったかな?)」。

円札をばらまきながら走っている
ようなものだから、やむを得ま
い。何しろ軍艦島まで約40分の道
りで600リッターのガソリン

第51回

国内ガソリン価格の高騰が 実はさほどでもない理由とは?

国内のガソリン価格の高騰が続いている。しかし、NY市場原油先物価格や米国内のガソリン価格の上昇に比べれば微々たるものだ。その原因はと言うと…

を食うっていうのだから。
さて、にもかかわらずである。
テレビのバラエティ番組等で「ガ
ソリンや灯油価格が上がって大
変」と愚痴ることが庶民の証左で
もあるようなモノの言い様を聞い
ていると、「ちよつと違うんだけ
どな」と違和感を感じる。

なぜなら、私は「確かにちよつ
と困った」と思うより前に、まず
「原油価格の高騰ぶりに比べれ
ば、まだまだ大したことはないよ
な」と思ってしまうのだ。
あるいは「米国民民のことを考
えれば、国内ガソリン価格の引上
げなんてまだ微々たるもの」との
思いのほうが強いのだ。彼我の差
は何処にありや?

いまから4年前には1バーレル
(159リッター)あたり20ドル
程度だったNY市場での原油先物
価格が、昨今では70ドルを突破し
ている。実に3倍半にもなってい
るのだ。しかし、少なくとも我々
がガソリンスタンドで給油するに
際してのコストは、まさか3倍以
上にはなっていない。

円ベースの原油価格は 円高の影響を受けてきた

理由その1。米ドル建ての原油
先物価格の上昇率が、そのままわ
が国における円建てベースでの原
油価格の上昇率に重なるわけでは
ない。言うまでもなく、国際市場
においてドル建てで売買されてい
る物資、財を輸入する場合には、
為替相場の影響を受ける。
では、この4年あまりの間、ド

世界各国で大きく異なる ガソリン税等の負担率

さらに3つめの理由。実はこれ
が一番大きいと言っている。それ
は、店頭でのガソリン販売価格に
占める税金の割合だ。わが国の場
合、レギュラーガソリン1リッター
あたりのガソリン税等は約56円
(プラス消費税)。店頭販売価格が
136円だと44%程度が税金なの
だ。これに対して米国ではその税
率はせいぜい18%。
つまり、わが国の場合、税金の
負担分が極めて大きいために、原
油価格が上がっても、その上昇率
に比べて税込みのガソリン価格の
上昇率はその半分程度なのだ。
IEA発表の「エネルギー価格
と税」は、OECD加盟各国のガ
ソリン店頭価格に占める間接税の
比率を一目でできるように作成した
ものだが、これを見る限りわが国
のガソリン税等の負担率(50・9
)は、全体的にはさほど大きく
ない。むしろ過半の国はガソリン
税等の間接税の割合は60%を超え
ているのである。

原油価格の上昇である。
理由その2。NYの原油価格
は、いわば卸価格にあたる。これ
がガソリンにまで精製されてガソ
リンスタンドに運ばれるまでに、
いろんな途中マージンが介在する
のは当然。このため、原油価格の
上昇率がそのままガソリン価格の
上昇率に重なるわけではない。
このことは、円高になったから
と言って珈琲ショップの
珈琲飲料の価格が引き下
げられることはまずない
という事実を振り返って
みればすぐ分かるはず。
すなわち、1杯300
円の珈琲のうちコーヒー
豆の輸入現価はおそらく
5%程度。つまり「全体
の5%にあたる部分の材
料コスト(輸入価格)が
例えば2分の1になった
としても、1杯300円
のコーヒーの価格に対す
る影響力は高々7円50銭
であり、実際はほとんど
その恩恵には被れない」
のと同じ理屈だ。

ちなみに環境保全の意識が高い
ドイツやイギリスでの税率は、実
に72・73%。ユーロ各国は米国と
は異なる環境保全への意識が高い
からである。「高い税率を設定す
る」↓「ガソリンの利用を抑制で
きる」↓「受け入れた税で環境保全
のための諸施設を行うことができ
る」↓「環境保全に役立つ」とい
う理念が社会的合意として根付い
ているのだ。

つまり、わが国ではガソリン税
等の税金の負担が大きい。原油
価格の上昇率に比べてガソリン
価格の上昇率はうんと小さい。こ
れはある意味ではとても皮肉な現
象であるともいえる。そして、
「米国」が海外諸国の代表である
ようなモノの言い様が必ずしも正
しくないことを、雄弁に物語って
いると思うのだがどうか?

さて、我々にとっては、「税負
担が大きく原油価格の上昇率ほど
にはガソリン価格が上がらない状
態」と「税負担が小さい代わり原
油価格が上がれば急速にガソリン
価格が上がる状態」とでは、どち
らが望ましい現実なのだろう。

NY原油価格高騰、でもわが国のガソリン価格上昇ピッチが鈍いのはなぜ?

